

下野市子ども・子育て会議 議事録

審議会等名 令和5年度第1回下野市子ども・子育て会議
日 時 令和5年7月14日（金） 午後1時30分から2時40分まで
会 場 下野市役所 3階 301・302会議室
出席者 一戸幸宏委員、大橋なみ子委員、新田知明委員、小池里美委員、
津野田仁大委員、金澤芳之委員、小倉庸寛委員、野口恵美委員、
佐間田香委員、藤川智子委員、中田好則委員
【欠席委員】川中子源委員、近藤令兒委員、小林勲委員
市側出席者 （事務局）福田健康福祉部長、浅香こども福祉課長、川嶋健康福祉課長
神田こども福祉課課長補佐、伊澤こども福祉課課長補佐、
篠原こども福祉課課長補佐、山家こども福祉課課長補佐、
横田健康増進課主幹、土田学校教育課主幹
小林こども福祉課主事
公開・非公開の別（ 公開 ・ 一部公開 ・ 非公開 ）
傍聴者 0名
報道機関 なし
議事録（概要）作成年月日 令和5年8月10日

1. 開 会

（事務局、浅香課長）

ただいまから、令和5年度第1回下野市子ども・子育て会議を開会します。
出席について、名簿5番の川中子委員、13番の小林委員から欠席の連絡を受けております。過半数の委員が出席していますので、下野市子ども・子育て会議条例第6条第2号の規定を満たしており、会議が成立することを報告します。会長が選任されるまでの間進行を務めさせていただきます、こども福祉課長の浅香と申します。よろしくお願ひいたします。
それでは、次第に基づき、2番の委嘱状交付に入ります。

2. 委嘱状の交付

（事務局、浅香課長）

本日は、あいにく市長が別の公務がございますので、代わって健康福祉部長の福田より委嘱状の交付をいたします。

【委員を代表して一戸委員に委嘱状を交付】

（事務局、浅香課長）

ありがとうございました。他の委員におきましては、机の上に委嘱状を置か

せていただき、委嘱状の交付とさせていただきます。本日から令和7年3月31日までの任期ということでよろしくお願いいたします。
続きまして、次第3、健康福祉部長あいさつをお願いいたします。

3. 健康福祉部長あいさつ

(事務局、福田部長)

改めまして皆様、こんにちは。健康福祉部長の福田と申します。開会にあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。本日は大変お忙しい中、令和5年度第1回下野市子ども・子育て会議にご出席いただきありがとうございます。日頃より皆様方には本市の保健福祉行政に対しまして、特段のご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。また、下野市子ども子育て会議の委員として心よくお引き受けいただき重ねて感謝申し上げます。さて、子どもを取り巻く環境ですが、少子高齢化の進行や社会経済状況の変化に伴いまして、大きく変化をしております。核家族の増加や就労形態の多様化、地域の希薄化、児童虐待事案の増加など、子育て家庭を取り巻く諸課題を抱える中、将来を担う子どもたちのことを第一に考えた支援を行っていく必要があると考えております。先日、厚労省から2022年合計特殊出生率が公表されました。1.26ということで、7年連続の下落となっており、本県におきましては1.24と3年連続で過去最低を更新するという結果となっております。そのような中、国におきましては、次元の異なる少子化対策としまして、児童手当の拡充や保育サービスの利用拡大に向け検討を進めているところです。本市におきましては、適切な子育て支援事業の確保を行うことを目的としまして、下野市子ども子育て支援事業計画に掲げた施策を推進しているところでありますが、今年度は市独自の新規事業といたしまして、子どもの見守りを兼ねたおむつ券の交付ということで、しもつけっ子応援プロジェクトを実施しております。来年度は次期計画を策定することとなりますが、今年度は子育て中の保護者の生活の実態や意見要望などを把握するためのアンケート調査を実施する予定であります。そこで市民の皆様の声をしっかりと受け止め、子どもたちが未来に向かって健やかに育つまちづくりを目指してまいりたいと考えております。本日は令和4年度の事業実績及び評価についての報告となりますが、委員の皆様から様々な角度からご意見をいただきたくお願い申し上げます。開会の挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願いいたします。

4. 自己紹介

委員及び事務局の自己紹介

5. 会長、副会長の互選

(事務局、浅香課長)

続いて、会長、副会長の互選を行いたいと思います。下野市子ども子育て会

議条例をご覧ください。条例の第5条第1項に、子ども子育て会議に会長及び副会長を各1人置くとあり、同条第2項により会長及び副会長は委員の互選によりこれを定めるとありますので、皆様にご意見を伺いたく存じます。どなたか、ご意見はございますか。

【「事務局案をお願いします」の声あり】

(事務局、浅香課長)

それでは事務局案との声がありましたので、事務局から紹介をお願いします。

(事務局、神田課長補佐)

事務局案といたしまして、下野市教育委員からの推薦で出席されています佐間田香委員にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

【拍手多数】

(事務局、浅香課長)

ありがとうございます。それでは会長を佐間田委員にお願いしたいと思います。続きまして、副会長についていかがでしょうか。

【「事務局案をお願いします」の声あり】

(事務局、浅香課長)

事務局案との声がありましたので、事務局から紹介をお願いします。

(事務局、神田課長補佐)

事務局案といたしまして、藤川智子委員にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

【拍手多数】

(事務局、浅香課長)

ありがとうございます。それでは副会長は藤川委員にお願いしたいと思います。ただいま会長、副会長が選任されましたので、佐間田会長、藤川副会長におかれましては、前の席へどうぞお願いいたします。

【会長、副会長 前の席へ】

(事務局、浅香課長)

それではここで佐間田会長、藤川副会長より一言ご挨拶をいただきたいと思
います。はじめに佐間田会長から、よろしくお願いいたします。

6. 会長、副会長あいさつ

(佐間田会長) 佐間田と申します。会長ということでどうぞよろしくお願いいたします。今
日はご多忙中、ご足労いただきましてありがとうございます。皆様、様々な
立場で子どもに関わっておられる方だと思いますが、せっかくここに来たの
で言いたいことは言ってください。意見に間違いはないと学校などで申して
おりますが、あの人が言ったから僕は違う意見だから言わないということが
ないように、様々な立場で子どもたちのためにご意見をいただきたいと思
います。どうぞよろしくお願いいたします。

(藤川副会長) 副会長に指名いただきました藤川と申します。よろしくお願いいたします。
私は助産師会で直接お母さん方に接するような身近なところで、いろんなこ
とを感じ取る役割になっています。皆様のいろんな役割の中で、今の子育て
環境を見ていただき、いろいろ意見を出し合うことで、全体がまとまってい
くのではないかなと思いますので、ぜひ意見をいただければと思います。よ
ろしくお願いいたします。

(事務局、浅香課長)

ありがとうございました。それでは続きまして、会議運営に関する確認事項
について、担当より説明をいたします。

7. 会議運営に関する確認事項について

(事務局、神田課長補佐)

【資料 下野市子ども・子育て会議の会議運営に関する確認事項について】
に基づき説明】

【質疑なし】

8. 議事

(事務局、浅香課長)

それでは議事の方に入らせていただきますが、子ども・子育て会議条例第5
条第3項の規定に基づきまして、これより佐間田会長の進行でお願いしたい
と思います。佐間田会長、よろしくお願いいたします。

(佐間田会長) 座ったままで進行を進めさせていただきます。それではまず議事録署名人の
選任ということで、本会議の議事録署名人は、先ほどのお話から、名簿順で

一戸委員にお願いしたいと思いますがよろしいでしょうか。本日の会議が終わった後に、こういう議事でしたというものを文書化いたしますので、これで間違いはないということをご確認いただけますでしょうか。

(一戸委員) わかりました。

(佐間田会長) よろしくお願いたします。続きまして、議事(1)「第二期子育て応援もつけっ子プラン」令和4年度分点検・評価報告書について、事務局から説明をお願いいたします。

(事務局、神田課長補佐)

【資料1、2、3に基づき説明】

(佐間田会長) ただいま、事務局からの説明がありました。委員の皆様より質問などございませんか。気になった部分があればどうぞおっしゃってください。いかがでしょうか。

【質疑なし】

9. 報告

(佐間田会長) 続きまして、次第9の報告に入ります。(1)第三期子ども・子育て支援事業計画に関わるニーズ調査について、事務局から説明をお願いします。

(事務局、神田課長補佐)

【資料4に基づき説明】

(佐間田会長) ありがとうございます。委員の皆様より質問などございませんか。

(小倉委員) 調査票のニーズ調査でアンケートの内容は、事前に私たちは分かるのでしょうか。それとも分からないのでしょうか。

(事務局、神田課長補佐)

はい、事前に案をお示しします。

(小倉委員) 調査票を作成して、会議で私たちに見せていただいて、その内容について、こういう内容もいいのではないかと言ったら、改正されるということはあるのでしょうか。

(事務局、神田課長補佐)

はい、その予定でいます。

10. その他

(佐間田会長) 続いて、次第10のその他に入ります。事務局からございませんか。

(事務局、篠原課長補佐)

【資料その1、2に基づき説明】

(佐間田会長) 委員から質問などございませんか。

(小倉委員) 先ほどの入園審査については施設長会議でよく話し合っていて決めていることですが、施設側の園長先生が集まって話し合っているのが、実際に生の利用者の声やお母さんの声は届きづらいというふうに感じています。こういった子ども・子育て会議が行われ、そこで意見が出たことの報告だけではなく、意見をされたことがそこに反映されるやり取りができるような状況になってほしいと思います。報告だけではなくて、その意見を取り入れて、また施設長会議で検討する方向にさせていただけたらいいのではないかと思います。いかがでしょうか。

(佐間田会長) 事務局はいかがですか。また皆様いかがでしょうか。そのような方向性でよろしいと思う方は挙手を願います。

【挙手多数】

(佐間田会長) それでは、そのようにご配慮いただけますよう、よろしく願いいたします。

(事務局、浅香課長)

先ほどの確認事項の中に入っていなかったのですが、元々、去年もそのようなお話で取りまとめがなされていたと、私どもも理解しています。今日のお話は、議事録で取りまとめ、必要事項については、当然、施設長会議でフィードバックしていくというサイクルを作っていきたいと思いますので、よろしく願いします。

(佐間田会長) ほかにご意見などございませんか。事務局ございますか。

(事務局、神田課長補佐)

お手元に、総合計画審議会委員の推薦についての文書写しがございます。総合計画審議会の委員について、子ども・子育て会議委員から委員の推薦依頼を受けております。佐間田会長が教育委員として選任されているため、副会長である藤川委員を推薦することをご報告いたします。

(佐間田会長) この機会に、他に皆様から何かご意見がございましたら、せっかくですので、情報交換をしたいと思います。ご意見、またこの施策に関することでもよろしいですし、毎日日常生活でお子様との関わりについて、何かございましたらお願いします。

(藤川副会長) こんにちは赤ちゃん訪問事業などのお母さん方と接する機会において、上の子が保育園に行っていたけれど、育児休暇を取っている間は1回退園してください、その後仕事が始まったらまた入園してくださいと言われ、それがすごく負担になっている、心の負担になっている、ということも多くのお母さん方から伺います。たまたま保育士だったお母さんから、自分が働いている保育園ではそういうふうにはしていないけど、下野市はそんなに保育園が少ないのか、そんなふうには見えないが、どうして預け続けられないのかというようなことをよく言われます。その件に関して、どのような感じか教えていただけないでしょうか。

(事務局、山家課長補佐)

産前産後が終わった後、育児休暇に関して、上のお子さんがいるという条件の方ですが、0・1歳児に関しては、8週終わった後の翌月から半年、2歳以上の方は1年となっているのが現状です。ただ、いろいろな保護者からの意見もあるところですが、現状では、0・1歳児の途中入園が多く、どうしても働くお母さんお父さん、本当に預けなくては働けない方を優先している状況です。今後課題になると思うので、近隣市町村の状況を調査してみて、検討する部分かと思えます。

(佐間田会長) 現状はそのようなかたちということですが、よろしいでしょうか。

(金澤委員) 補足させていただいてもいいでしょうか。

私の園でも同じような話がよくあがっておりまして、昨年、系列の薬師寺保育園が認定こども園になりました。認定こども園になる理由の一つとして大きかったのが、結婚で出産、育休の間で大変になってしまいましたが、3歳以上のお子様は幼稚園の1号認定でそのまま預かることができ、時間は短くなりますが、受け入れできます。保護者の利便性を考えまして、保育園から認定こども園に移行しております。制度上それくらいのことはできます。あと私からの意見ですが、1号、2号の移動が結構問題になっております。保護者の方からは、1号でお子様は預けていたが、いろいろな事情で仕事をしなくなり、やっとのことで内定をとって仕事ができただけれど、2号認定になることができなかった。そういったことも聞いております。その場合、制度上どうしても預かり保育料とかの負担がかかります。1号、2号の変更の受け

皿とか、そういったところも配慮いただければと思っております。

(藤川副会長) 3歳児以降だと、そういうガイドがなされているということですが、ちょうど2歳になったけれど、育児休暇に入って保育園をやめなくてはならないというお母さんが結構多い。お母さんが2人を育てるのは大変で、やっと生活のリズムが付いてきたところなのに、またやめなくてはならないとなると、厳しいし、子どももかわいそうみたいなどころもある。育児休暇に入って2歳ぐらいの子どもがいるということは、これから産んでくれそうな年代だったりするので、少子化対策ということを見ると、その辺も考えなくてはならないのかなと思う。ご検討いただければ、お母さん方も喜ぶし、子どもを産みたいと思うお母さんも増えてくるかなと思う。

(佐間田会長) 他にございませんか。では私から1点。私は乳児1歳未満のお母さんと保育の預かりとか、幼稚園、保育園でお話をする際、すごくあがってくるのが、1年経ったら仕事に戻らなくてはならないということ。多分、市役所の皆さんの理解は、働くために預けるという理解だと思っています。実際のお母さんの声を聞くと、本当は子どものそばに1年いたくて、でも1歳児から預けるのは難しいから、0歳児の方がまだ枠があるので、本当は仕事をもうちょっと休みたいけれど4月前に入園させる方向で考えているとか、そこに手続をしておくを入れるよとか、1年間ですぐ復帰できるからという話をよく聞きます。例えば、入園前のお母さんに聞くと、本当はそばにいたいという話を聞くので、1歳児の枠を広げるとするのは難しいですかね。もうちょっとうまくできないかなと思いました。お母さん方としてはそういう意見、考え方もありますということをご承知していただければと思います。他にございませんでしょうか。

(大橋委員) 私はコロナ禍の中でも市の子育て支援センターとか、ファミリークラブのようなものに参加させていただいて、実際に子どもたちが育っていく環境とかをすごくどうなのかなというふうに思っています。ここに生まれ育ったわけではないので、下野市に来て今8年目になりますが、実際、いろいろなママ友とか子育て支援センターの先生とかから、教育環境はこうだよとか情報交換をしています。2歳半の息子が1号なので今度幼稚園に行く年齢になりますが、子育て支援センターのゆりかごや、つくしに行くと、下野市内ってどんな幼稚園がありますかというお話を聞いても、実はあまり答えてくださらなくて、あまり情報がない状況です。実際、ママ友同士で情報交換をしているというのが現状なのですが、2歳半になると、2号、3号の人が多いため、同じくらいの学年のママっていなくなってしまいます。だから、情報交換も難しくなっていて、自分で情報収集して、園に見学に行かせてもらうというのが現状です。1号のお母さんたちは市のいろんな幼稚園とか市外の

園も選べるので、もっと営業ではないですが、いっぱい情報を市の方に出していただいて、市の先生たちも情報をすぐ出せるように用意しておいていただけるとすごくありがたいです。わざわざ2歳半の子どもを連れて幼稚園に見学に行けないので、おじいちゃんとか夫とかに子どものお守りをお願いして、自分だけ見学させてもらって、子どもたちの様子を見ている状況なので、それが行かないで済むとなると、すごくありがたいなと思います。子育て支援センターの先生方は、情報はあまり収集されていないのですか。

(佐間田会長) 園の先生方いかがでしょうか。

(金澤委員) 私どもの子育て支援センターゆりかごやみるくの先生はよく知っていますが、おそらく園についての情報を詳しい者は多いと思いますが、あがってこないですか。

(大橋委員) ゆりかごの先生にはすごくお世話になっていて、薬師寺幼稚園関係のことはよくお話を聞かせていただいています。薬師寺幼稚園の母体をメインとしているので、他の施設の情報がまったくないというのはしょうがないと思っています。例えば、つくしだと公平な場所なので、情報をまんべんなく浅くてもいいので持っていていただけるとありがたいです。2歳のプレがあるよとか、実際問い合わせてみないと分からなく、やっていたよというのを今ぐらいに知ると、スタートダッシュが遅くなったりします。

(金澤委員) 一覧表みたいなものがあると助かりますか。

(大橋委員) そうですね。例えば、2歳の歯科検診で市に集まることはないと思いますが、歯科検診と一緒に紙に、こういうことを2歳の学年になったらやっていますよ、他の園ではこういうのがやっていますよっていうふうに言ってもらえると、市内の幼稚園に通うかなという気持ちになると思います。

(佐間田会長) 事務局のほうからお願いいたします。

(事務局、山家課長補佐)

子育て支援センターつくしで情報収集がされていないということはないと思いますが、うまく情報提供ができておらず申し訳ございません。月に1回、2回、利用者支援専門員の私がつくしに伺って、そのときにいろいろな幼稚園の発信をしています。次の預かり保育の親子教室がいつありますよとか、いろんな情報を拾って、お示ししていけたらと思っています。本日、机上に下野市の教育・保育施設紹介の冊子があると思います。昨年度から作っています。園の方に特色など入れてもらって、毎年1回発行することになってい

ます。昨年度前半に、私も園をまわって、どうしても入りたい園とか、どう
いう園がありますかというのをすごく聞かれました。何の資料もなかったの
で、あと1年間はこれを使いながら、また自分で調べたもののお話をさせて
いただきたいと思います。私も毎日いろんなところには行けないので、子育
て支援センターの先生たちに情報を発信できるように、話をさせてもらおう
と思っています。加えて、安心子育てハンドブックというのを毎年作成して
いまして、今年はこの黄色い冊子を作りました。毎年グレードアップしなが
ら、子育てに関することやちょっと困ったときにどこに電話したらいいかな
ど、そういった情報が入っている冊子になっているので、こちらもよろしく
お願いします。また、先月からこども福祉課窓口のエレベーター前に、各園
で自由にしおりや行事のお便りを置けるコーナーを設けています。利用者
に見てもらい、使っていただけるといいなと思っています。そういうところも、
今後保護者たちからの要望を聞きながら、少しずつ改善できたらと思ってい
ますので、よろしくお願いします。

(佐間田会長) この安心子育てハンドブックは紙媒体以外にホームページとか見られないで
すか。今の若い方たちは紙媒体を見ないと思われそうですが。

(事務局、山家課長補佐)

今後、電子ブックは他の種類もできているので、検討をさせていただきます。
ただ、こども福祉課の部分だけではないので、他の課にも相談しながら進め
ていこうと思います。

(佐間田会長) ちなみに、大橋委員はどのような形が理想と思われるでしょうか。保護者の
目線として、どのような形が一番使いやすいでしょうか。

(大橋委員) 私としては、ハンドブックに載っているものだと、緊急性の高いものだけラ
ミネートでいただけたりすると、ぶら下げておいて、他の家族が緊急事態の
ときに連絡できたりするといいいのかなと思います。幼稚園とか、自分で調べ
て制度を受けるものに関しては、PDFであったり、ホームページで分かり
やすいところにポップアップを作って、リンクを貼っていただければ、すぐ
にいけるとと思います。実際、市のホームページは見づらくて探さないといけ
ないため、その間に子どもが携帯を取って行ってしまったり、夜になって子
どもが寝たら見ようと思っても自分が疲れて一緒に寝ていて記憶がなくなっ
てしまうと、結局1週間ぐらい忘れていたということが多くあります。

(佐間田会長) 私も思いますが、いつも子どもの情報は市のホームページから入っていかな
くはないので、子育てだったら子育てだけのホームページがあるとい
いです。そうすると、すぐ開けると思います。難しいかもしれませんが、実

際の方はそう思っていますので、ご意見を踏まえていただければと思います。他にいかがでしょうか。

(小池委員) 今働くママさんも、パパさんもすごく多いと思います。ハンドブックの50ページ、延長保育時間を見てほしいです。延長保育を利用している保護者の方は結構多いと思います。そこで、おむつ券みたいな助成があると助かると思います。

(佐間田会長) 津野田委員、いかがでしょうか。

(津野田委員) 私は情報のほうで気になりましたが、市のほうで、例えばLINEでそういった情報を流すとか、そういったことはしますか。例えば、欲しい情報だけを選択して、その情報がLINEで市役所のほうから各個人の携帯とかに通知が入るとか、そこで情報を仕入れられるというのがあると便利かなと思いました。

(佐間田会長) 事務局からいかがですか。

(事務局、浅香課長)

下野インフォメーション メール配信サービスがありまして、登録していると市からの情報が個人のスマホに入ってくるというのがあります。今も児童館とか先ほどの子育て支援センターなどのイベント情報が自動的に入ってくるというのがあります。初回は自分で登録しなくてはなりません。

(津野田委員) 市のホームページはどうしてもハードルが高いので、簡単に入れるスタートの部分があると、皆さん取っ付きやすいのかなと感じました。

(事務局、浅香課長)

ママフレというサイトが下野市にありまして、莫大なホームページの中から、子育て情報だけをピックアップしたサイトです。ただ、結局ママフレから入っていくと、市のホームページに飛びます。探す手間が省けるまとめサイトになっています。

(佐間田会長) ありがとうございます。小倉委員、お願いします。

(小倉委員) 小山地区幼稚園連合会という団体がありまして、小山市と野木町、下野市の幼稚園や認定こども園が集まって、ガイドブックを作っています。ガイドブックがあるのは知っているかもしれませんが、小山地区連合会では封筒に、こういった保育施設ありますよとか、子育て広場のカレンダー、ファミリ

一・サポート・センターの宣伝、こういったチラシがいくつか入った封筒を子育て世代のお家に郵送しています。下野市幼稚園連合会でもやっていましたが、いろいろあってやらなくなりました。宛名は個人情報の問題があるので、扱う難しさがあるようです。小山市はこども未来課が中心となってやっています。すごくいいものですが、下野市はなかなか難しいなと思っています。この袋詰め作業は私たち保育士、保育者がやっています。各園から2名ずつ集まって、私は下野市ですが、小山市の封筒に一生懸命何千枚も入れて、宛名をみんなで貼って、この地区の人はこっちの半分に入れてくださいとか言いながらやっています。保護者は忙しいから取りに行けないし、家に届くわけですから、下野市もやったらいいのになといつも思っています。

(佐間田会長) 金澤委員もお子さんの子育てに関わっているので、そちらの立場からはいかがでしょうか。

(金澤委員) 私は職業上、情報はありました。私もお飯を作ったり、お風呂に入れたり、寝かせたり、一通り全部やっていますので、8時過ぎに寝てしまったりとか、そんなことはざらにありました。情報が一連化されているというか、プッシュ型で来るというのはあっていいのかなと思いました。

(佐間田会長) 一戸委員いかがですか。

(一戸委員) 私は子育てを終えていて、どういうことを皆さんが考えているか、いろいろ情報をもらいたいと思っています。私自身少年サッカーのコーチをしていて、幼稚園児から小学6年生と、中学生の外部コーチもしていますので、情報を入れながら、少子化で今後なかなか子どもが入ってこないものなので、そういうところを取り入れて改善できればというところでは。今、具体的な案がいろいろ出ていますが、正直そういうのもあるのか、こういうのもあるのかという衝撃を受けているような感じになっています。

(佐間田会長) 中田委員、お願いいたします。

(中田委員) 私も子育ては終わっている世代ですが、転勤で来た子育て中のお母さん方にこういったフォローがありますよ、ということで2点ほど。1つは、今人手不足と言われている中、弊社は女性が多い職場になります。ぜひ来てほしいというような形でお話をしていますが、やはり子育ての関係でなかなか仕事ができないというようなことがあります。そういったときに、先ほどの保育所の空き情報ですとか、入園審査の件ですとか、こういった情報がありますと、今ここの保育所が空いてますよ、そちらにお預けしてぜひ弊社に勤めませんかとお勧めすることができます。弊社のような事業所とか、そういっ

たところにも情報を連携していけば、人を採用するのに役立つのではないかと
思っております。2つ目が、私は転勤族なので、あちこちの市町村に行っ
て、子どもが小さいときは妻が子育てをしていました。こちらの下野市も各
種事業所がありますが、転勤で来られている方が、分からない土地で子育て
をするということは非常に大変だったと思います。前任者は東京出身ですが、
こちらに赴任して家を建てたということなので、本当にいい町なんだと思
っています。

(佐間田委員) 野口委員、お願いします。

(野口委員) 私は4、5年前、子育て支援センターづくしに居たことがありまして、その
ときは情報の共有の場が結構ありました。お母さんたちが来ると、いろい
ろなお話をしてくれて、市内の他の子育て支援センター「ゆりかご」とか「み
るく」との交流も、先生たちと子育て支援センターの交流もありました。他
の子育て支援センターや児童館で行ってきたことなどを教えてくれました。
いろいろな場で情報共有ができていることを感じ、「つくし」でも同じように
情報共有の場になると良いと思っていました。藤川副会長には大変お世話に
なりましたが、赤ちゃん教室に来て、いろいろ聞かれたりすると、私たちが
分からなくても、お母さんたちは分かっている、いろいろなことをお話し
していたので、そこで情報を共有ができて良いと改めて思いました。利用者支援
の方も来て、お話をしてくれて、子育て支援施設の案内や情報を提供してく
れたり、検診のときなどにもお知らせしてくれたりしているので、このよう
な機会ですべて聞いていいなと思いました。先ほど課長からお話がありま
した下野インフォメーションにおいて、あらかじめ利用登録された方に、市
に関する情報をメール配信いたします。「子育て」の項目を登録しておく
と、児童館の親子教室など子育て情報を発信いたします。是非使っていただ
ければと思います。

(佐間田会長) 一つ質問ですが、来るメールというのは、自分から登録するのですか。

(野口委員) そうです。下野市のホームページに「子育て」という項目があるので、そこ
で一回登録してもらえばメールが来ます。

(佐間田会長) それは出生届を出したときなど行政側と対面したときに、QRコードとかを
親がもらえるとか、そういうサービスは難しいのでしょうか。多分それが一
番楽だと思いますが。

(大橋委員) 現状、メール自体をあまり見られないので、見落としが多いです。出生届は
夫が必ず出しに行っていたので、お祝いと一緒に紙にQRコードを載せても

らえると、書類を見たタイミングで登録ができるかなと思います。生まれてすぐですとまだ余裕があります。

(佐間田会長) 藤川副会長いかがでしょうか。

(藤川副会長) せっかく全戸訪問とかで生まれた赤ちゃんたちのところにほぼ伺っていますので、QRコードがここにあるから登録するといろんな情報が入ってくるよというお知らせができればいいのではないかと思います。家庭訪問をしていると、生まれてすぐにお届けしたいろいろなものが、お母さんのほうに正しく伝わっていないことが結構あります。いろいろ大事なものが詰まっている袋に、何が入っているか分からないで、そのままになっている人も結構いたりします。赤ちゃん訪問とかそういうところでも周知できると、もっと確実ににお母さんに届くのではないかなと思います。検討をお願いいたします。

(佐間田会長) 事務局からお願いします。

(事務局、伊澤課長補佐)

出生届があった際、こども福祉課に保護者の方がいらっしゃって、児童手当とかの手続きをしていただくことになっています。その際に窓口で本日皆様にお配りいたしました安心子育てハンドブック等もお渡ししております。幼稚園や保育園は、先ほど山家課長補佐のほうから説明しました施設の一覧等をお渡ししまして、色々なお話をしております。ただ、こちらのPR不足もあったということで反省しなければいけないと思いました。こちらのハンドブックの73ページから74ページに、QRコードから子育て情報に飛べるようなものもありますので、出生届を受けた際に、ただこのハンドブックをお渡しするだけではなく、こちらにこういったものもありますのでお時間があるときにこちらを見て登録してはどうでしょうかということをおPRさせていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

(佐間田委員) 皆様には大変貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。有意義な時間になったかなと思います。進行を事務局に戻したいと思います。

(事務局、神田課長補佐)

本日お渡ししたおむつ券の利用についてというチラシについて、簡単に説明いたします。今年度からしもつけっ子応援プロジェクトという乳児の定期的な見守りの実施と併せまして、紙おむつ等の購入助成券を交付するという下野市独自の事業のPRチラシとなっています。対象者は下野市に住所がある乳児1歳未満児の保護者で、おむつ券の交付額は1回につき2万円相当額を交付しております。交付の時期は、生後4ヶ月までに行うこんには赤ちゃん

ん訪問のおおむね1ヶ月後に実施する見守り訪問と、10か月検診時の2回に分けて交付いたします。なお、今年度からの事業のため、見守り訪問時は令和5年4月1日以降に生まれた乳児、10か月検診時は令和4年5月1日以降に生まれた乳児が対象となっております。またチラシの裏面には、おむつ券が使用できる指定店12店舗を記載しております。

(事務局、浅香課長)

本日はこのしもつけっ子プランの進捗状況について、皆さんに進捗管理をご確認いただいたところですが、下野市では様々な事業を行っております。ここに載っている事業はかなり多いと思います。今日説明を聞いただけでは、この事業がどういう事業なのか分からない部分もあるかと思います。今日は初めてでなかなかご質問をしづらかったところもあるかもしれません。ぜひお気軽にここに載っている事業がどういう事業なのかというご質問でも構いませんので、いろいろご意見をいただければと思います。これらの計画の進捗管理の中で、今年度1年間、先ほど申し上げたアンケート調査なども進めます。次年度はこの計画の見直し時期になってきますので、この会議で計画の見直しをしていくこととなります。今年1年をかけて、この事業の中身など、いろいろ情報を提供していきたいと思っています。また、様々な意見が出されましたが、主に我々の情報の提供の仕方がよろしくないという部分もありました。「やっている」というだけではなく、更に分かりやすい周知ができるようにしていきたいと思っています。その一つとして、先ほど子育て支援センターのご意見もありましたが、利用者支援でお母さん方の様々なニーズに応えるような情報を提供する活動を行っていますが、どうしてもうまくタイミングが合わないこともあります。今日は利用者支援専門員が〇〇を訪問していますということを、事前にしっかり周知をして、計画的・効果的に情報提供活動を進めていければいいなと思っておりますので、今後それらの取組を検討してまいりたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

11. 閉会

(事務局、浅香課長)

それでは長時間にわたりまして、本日はありがとうございました。次回の開催につきましては11月の中旬頃を予定しております。日程が決まり次第、通知を差し上げたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。それでは、以上で、令和5年度第1回下野市子ども・子育て会議を閉会いたします。本日はありがとうございました。

以上

会議の経過を記載し、その相違がないことを証するためここに署名する。

.....
会 長

.....
議事録署名人